

ジュニア司書マイスター活動報告【令和5年度冬期活動】

ジュニア司書マイスターとは、ジュニア司書としての活動期間を終了し、より専門的に八街市立図書館の活動に携わるメンバーです。今年度は新たに3人のジュニア司書マイスターが加わりました。

冬期活動では、図書館が主催の多数のイベントにスタッフとして参加しました。また、冬のおはなし会スペシャル用のプレゼントや館内装飾の作成、カウンター業務や資料整理等を行いました。在宅活動では、福袋の図書選定やおすすめ本の紹介文等を作成しました。マイスターは、後輩ジュニア司書への助言や指導もしてくれ、同じ時間を共有してくれるだけでも頼もしく、真似して欲しい存在です。



やちまた教育の日月間 子ども科学講座のサポートをしました！



ジュニア司書マイスター1期生の大先輩2人が受付や参加者のサポートをしてくれました。



ライブラリーカフェのプレゼント作りやスタッフとして活躍！



4年ぶりのライブラリーカフェを12月15日に行いました。館内で、コーヒー等が販売され、八街にゆかりがある宮内優里氏の生演奏に耳を傾けながら、読書を楽しめるイベントでした。また、ワークショップ（ぐりとぐらの帽子づくり）やボードゲームで遊ぶ会にも参加しました。



当日配布したオリジナルバッチの作成



丁寧に作成しています。ジュニア司書マイスターとジュニア司書と一緒に作成しています。



2階視聴覚ホールでは、「図書館でボードゲームを遊ぶ会」をサポート。なんと、1・2期生と今年なりたての12期のジュニア司書が1つのテーブルを囲み活動しています。



ボードゲームの様子





冬のおはなし会スペシャルを盛り上げる！



毎年恒例の12月第3土曜日の冬のおはなし会スペシャルでは、事前のプレゼント作りや当日参加したジュニア司書をリードしてくれました。

プレゼントのミニリース作成



プレゼント



おはなし会の様子



折り紙で作った 季節の装飾

とても綺麗です。館内が華やかになりました。



本の福袋(3冊入り)の図書選定をしました！

- ・「汝、星のごとく」 尻良 ゆう/著 講談社
- ・「光のところにいてね」 一穂 ミチ/著 文藝春秋
- ・「ラブカは静かに弓を持つ」 安壇 美緒/著 集英社
- ・「虚魚(そらざかな)」 新名 智/著 KADOKAWA
- ・「電気じかけのクジラは歌う」 逸木 裕/著 講談社
- ・「クラゲ・アイランドの夜明け」 渡辺 優/著 中央公論新社

- ・「晴れ、時々くらげを呼ぶ」 鯨井 あめ/著 講談社
- ・「プラネタリウムのふたご」 いいしんじ/著 講談社
- ・「夜は短し歩けよ乙女」 森見 登美彦/著 角川書店

- ・「豆腐の角に頭ぶつけて死んでしまえ事件」 倉知 淳/著 実業之日本社
- ・「むかしむかしあるところに、死体がありました。」 青柳 碧人/著 双葉社
- ・「まず牛を球とします。」 柞刈 湯葉/著 河出書房新社

- ・「人間失格・富嶽百景」 太宰 治/著 PHP研究所
- ・「伊豆の踊子」 川端 康成/著 新潮社
- ・「銀河鉄道の夜」 宮沢 賢治/作 小林 敏也/画 パロル舎



1月5日から始まった本の福袋は、1月12日にすべて貸し出しされました。

